

介護認定審査会特別会計

介護保険法に基づき、要支援、要介護についての二次判定をするための審査会を、年間112回（審査件数3,616件）開催し、適切な判定を行いました。

障害支援区分認定審査会特別会計

障害者総合支援法に基づき、障害程度の区分を判定するための審査会を、年間12回（審査件数96件）開催し、適切な判定を行いました。

（単位：千円）

区分	歳入	歳出	差引	内容
介護認定審査会特別会計	17,511	16,763	748	介護認定審査会の開催に要した経費
障害支援区分認定審査会特別会計	1,191	1,046	145	障害支援区分認定審査会の開催に要した経費

* 介護認定審査会特別会計・障害支援区分認定審査会特別会計における、歳入歳出差引残額は、翌年度へ繰り越しました。

病院事業会計

公益社団法人地域医療振興協会に管理運営を委ねて12年を経過する中、指定管理者においては、医師体制の充実を始め、介護事業、保健予防事業など着実に地域医療の充実に努めています。

訪問看護ステーション事業会計

病院事業会計と同様、地域医療振興協会に管理運営を委ねています。

在宅で生活を保持できるように、個々の利用者のニーズに応じた訪問看護サービス事業を提供しました。

（単位：千円）

区分	収入	支出	差引残高	摘要	
病院事業会計	収益的収支	3,103,281	3,256,420	▲153,139	病院の経営状況
	（医業）	(2,883,439)	(3,183,043)	(▲299,604)	医業サービス提供による収支の状況
	（医業外）	(219,842)	(73,377)	(146,465)	医業サービス以外の収支の状況
	資本的収支	362,928	362,926	2	企業債元金償還等
訪問看護ステーション事業会計	収益的収支	45,395	46,040	▲645	訪問看護ステーションの経営状況
	（事業）	(45,395)	(46,040)	(▲645)	訪問看護サービス提供による収支の状況
	（事業外）	(0)	(0)	(0)	
	資本的収支	0	0	0	

患者数（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：人）

診療科		一般病棟								合計	回復期病棟
		内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	泌尿器科		
入院	延	15,007	0	4,272	7,208	192	0	0	487	27,166	17,264
	1日	41.1	0	11.7	19.8	0.5	0	0	1.3	74.4	47.3
外来	延	38,947	1,820	9,544	15,119	2,808	2,064	3,033	4,453	77,788	—
	1日	132.9	7.5	32.6	62.2	11.6	21.5	12.5	18.3	265.5	—

公立黒川病院の経営状況 “資金不足なし”

平成28年度公営企業会計資金不足比率について

平成28年度決算に基づき算定された公営企業会計資金不足比率は、病院事業会計、訪問看護ステーション事業会計とも資金不足はなく健全な経営状況となっています。

◆ 資金不足比率

特別会計の名称	平成28年度決算	経営健全化基準
病院事業会計	—	20.0%
訪問看護ステーション事業会計	—	20.0%

備考

- 1 資金不足額がない場合は「—」と標記しています。
- 2 経営健全化基準とは、資金不足比率がどのような状況にあるのかを判断する基準として設けられているものです。資金不足比率が経営健全化基準を超えた場合、経営健全化計画を策定しなければなりません。